

# 第10回検討委員会及び第10回整備基本計画専門部会議事要旨と施設整備基本計画検討スケジュール

## 1. 第10回町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会(平成24年7月6日開催)議事要旨

### 1. 第9回検討委員会及び第8回建設候補地選定専門部会、第9回整備基本計画専門部会議事要旨について

#### (1) 建設候補地選定のプロセスについて

①熱回収施設は2、3箇所、資源ごみ処理施設は2箇所以上の複数箇所を候補地とし、これらの候補地の中から、最終的に市が施設を建設する候補地を決めることにしている。また、候補地を決定した後、市の主催で候補地がある地区で説明会を開催することをイメージしている。

#### (2) 施設の副次的機能について

①施設には副次的機能を設け、市民が自発的に活動できる場を設けるべきとの意見を述べた。また、熱回収施設や資源ごみ処理施設に、施設の分散化と合わせて防災機能等の副次的機能を持たせるべきとの意見を述べた。今後の意見交換会での結果を踏まえ、施設の具体的な構想を膨らませていけたらよいと思っている。

②資源化基本計画の作成の際にも議論されたが、市民と共同して取り組める1つのきっかけとなる施設にしていけたらよいと思う。

### 2. 整備基本計画専門部会からの報告：各施設の検討結果(案)

①資料に記載されている内容で以下のことを再度検討すること。

- ・バイオガス化施設の図について、乾式発酵を選んだ理由等について記載すること。
- ・7月1日より施行された再生可能エネルギーの固定価格買取制度に合わせた導入ケースを検討しているので、それがわかるように示すこと。
- ・資源ごみ処理施設は、熱回収施設とは別に2箇所建設することが伝わるように修正すること。
- ・防災拠点化や市民交流の場等の施設の副次的機能について、熱回収施設と同様の内容を資源ごみ処理施設にも記載すること。
- ・環境調査結果の情報公開やトラブル時に市民との協議の場を設けることについては、資源ごみ処理施設だけに当てはまる内容ではないため、全ての施設に当てはまる内容であることがわかるようにすること。

### 3. 建設候補地選定専門部会からの報告

#### (1) 二次選定結果(案)

①三次選定の前段として、現実的に考えて施設の建設が難しい場所を候補地から除外する。そしてその除外した結果を意見交換会に提示する。

②検討委員会で二次選定結果(案)の内容を了承する。

#### (2) 三次選定の評価項目及び配点(案)

①敷地の面積や形状の制約から施設の配置ができない場所、地区計画の対象になっている場所、地権者の合意が得られなかった民有地は、現実的に施設の建設が難しい候補地として三次選定の最初の段階で除外する。意見交換会には、不適地を除外し絞り込みを行った候補地を提示する。

②選定フローにおいて、施設整備が困難な候補地の条件となっている「平場面積」、「地区計画」、「地権者の理解」に関する内容を、もっと細かく記載してほしい。

③指摘を受けた内容(地区計画の内容の説明、三次選定におけるリレーセンターみなみの扱い、各評価項目の点数付けの設定根拠の明示、「類似施設」の定義)については、建設候補地選定専門部会で議論することとし、指摘された修正内容を踏まえた案を委員会として了承する。

## 4. 意見交換会について

### (1) 意見交換会用の資料について

- ①全体的にわかりづらい資料となっている。意見交換会に役に立つ資料を作ってほしいため、次の内容について再度検討してほしい。
- ・意見交換会を主体とした経緯や意見交換会の開催趣旨がわかるように記載してほしい。
  - ・前回の意見交換会の結果を踏まえ、前回と何が変わり、今回の意見交換会ではどのような議論を行いたいか。その内容がわかるような資料を作成してほしい。
  - ・今回の意見交換会での検討ポイント1、2、3とあるが、これらが意見交換会で検討してほしい内容なのか、それとも既に決定していることなのかわかりづらい。
  - ・二次選定結果の図にタイトルを入れてほしい。また、今回市民から意見をいただきたいのは三次選定の評価項目及びその配点であるので、そのことがわかるようにしていただきたい。
- ②以下の内容についても検討し資料に記載する必要がある。内容を整理したうえで、資料中の図に落としこんでいった方が分かりやすくなると思う。
- ・熱回収施設等、資源ごみ処理施設が分散化すること。
  - ・熱回収施設については、資源化する廃棄物が増えるため、施設規模が小さくなること。
  - ・生ごみの資源化について、3000tは家庭で堆肥化し処理することを前提とし、堆肥化できない19000tはバイオガス化すること。
  - ・堆肥化とバイオガス化について、文言を工夫し、整理しておくこと。
- ③一般廃棄物資源化基本計画の概要を、資料として意見交換会に配布してほしい。また、以下の内容について検討し再度整理してほしい。
- ・2月～3月にかけて実施した意見交換会でどのような意見が出て、それをどのような形で計画に反映したのかがわかる資料を配布していただきたい。
  - ・今まで出された意見が表にまとめられている資料を、意見交換会の会場に回覧用として準備していただきたい。
  - ・環境保全に関することで、自主規制値や運転管理目標値は熱回収施設だけでなく資源ごみ処理施設等にも設定することがわかるようにしていただきたい。
  - ・「建設までのスケジュール」は別の資料に別途記載すること。また、建設までのスケジュールには「新しい施設の稼働に向けて、建設地の周辺住民の方々と情報を共有し『工事にかかる協定』や『運営にかかる協定』の締結を行います」と記載されているが、これが非常に重要である。自主規制値、運転管理目標値、トラブル時の対応の3つが揃うことで、安全・安心のツールとなるということを示した方がよい。
  - ・バイオガスの活用方法については確定していないので、地元還元も含めて、市民に意見を尋ねてはいかがか。
  - ・施設の副次的機能について意見を聞くべきではないか。
- ④Q&Aのうち代表的なもの何問かについては、質問だけでなく答えも記載し、配布資料として意見交換会で配ってほしい。
- ⑤委員でプロジェクトを結成して、資料の修正も含め今まで挙げられたQ&Aをベースに資料を作成することとした。

以上

## 2. 第10回整備基本計画専門部会(平成24年8月21日開催)議事要旨

### 1. 第10回検討委員会議事要旨及び検討スケジュールについて

#### (1) 施設の配置計画や建設コスト等について

① 候補地内での各施設の配置イメージの資料や造成費等の大まかな試算結果を10月の建設候補地選定専門部会で提示し、11月の検討委員会で最終報告する。

#### (2) 施設の副次的機能について

① 11月中旬以降に市が主催する建設対象となった候補地周辺の市民への説明会では、施設の副次的機能に関する説明用の資料を提示する。

### 2. 整備基本計画専門部会 各施設の検討結果(案)について

#### (1) 資源ごみ処理施設の分散ケースについて

① プラスチックの中間処理施設を分散化するケースを優先した理由として、施設の一極集中による環境負荷の増加を避けることと、コスト削減という内容を加筆する。

② 資源ごみ処理施設の分散ケースの検討は、候補地の場所や面積に応じて柔軟に対応することを加筆する。

#### (2) 熱回収施設等の自主規制値、運転管理目標値について

① 相模原市南清掃工場の水銀の自主規制値である $0.03 \text{ mg/m}^3\text{N}$ は、バッチ測定値なのか連続測定値なのか調査し、水銀の自主規制値は再検討する。

② 運転管理目標値は、合理的に達成可能な範囲で定めた努力目標であるため、設定値を超えたからといって施設の稼働を停止しない旨の丁寧な説明を記載する。

③ 資源ごみ処理施設の自主規制値は、10月に開催される第11回整備基本計画専門部会で提示する。

#### (3) その他事項の文言、表現の加筆修正について

① 熱回収施設を分散化しない根拠として、安定的なごみの供給はなく、分散化により建設コストが増加することや発電効率の低下等の費用対効果が低くなるため分散化しないとの表現に修正し、分散化する場合としない場合の施設の建設コストについても調査する。

② 発酵残さの重量は乾燥ベースの重量なのか、湿潤ベースの重量なのか明記する。

③ 乾式メタン発酵の短所の文章の訂正を行う。

④ 生ごみをバイオガス化する際に発生する発酵残さの量等を確認するため、物質収支のデータを9月4日の検討委員会で提示する。

⑤ プラスチックの処理は熔融ではなく圧縮梱包することや焼却灰をエコセメント化することを加筆する。また、以前指摘した環境保全に関する内容も加筆する。

### 3. 計画ごみ排出量・資源化量と計画施設規模の見直しについて

① 小型家電を資源化するスペースも施設計画に入れる。小型家電の保管場所がない場合は、行政側が検討する。

② 製品プラスチックは焼却処理ではなく、資源化することを明記する。

以上

3. 施設整備基本計画検討スケジュール

委員会・部会等	項目	2012年										2013年		
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会	検討委員会(両専門部会合同)	20日:第9回検討委員会 ・建設候補地選定専門部会からの報告 (1)二次選定の項目及び結果について (2)三次選定評価項目(案)		6日:第10回検討委員会 ・意見交換会に向けた確認 ・熱回収施設(焼却施設)、不燃粗大処理施設、ごみメタン化施設の資源ごみ処理施設の内容の確認 ・建設候補地選定三次選定評価項目の配点案の確認		4日:第11回検討委員会 ・市民意見の整理と今後の進め方(案) ・整備基本計画専門部会 各施設の検討結果(案) ・計画ごみ量排出量・資源化量と計画施設規模の見直しについて	上旬:第12回検討委員会 ・三次選定評価項目の最終確認	中旬:第13回検討委員会 ・建設候補地最終選定結果の確認(配置イメージ図の提示) ・各施設の決定内容の確認 ・付帯機能の確認			第14回検討委員会 ・施設の運営計画の検討 ・報告書(案)の検討		第15回検討委員会 ・報告書の確認	
	整備基本計画専門部会	20日:第7回専門部会 ・資源ごみ処理施設の分散化について ・熱回収施設の炉数について ・排ガス自主規制値について ・地域計画と委員会との関連スケジュール	11日:第8回専門部会 ・メーカーアンケート結果について ・メタンガスの各利用形態方法について ・発酵残さの利用方法について ・環境省の報告書について ・不燃・粗大ごみ処理施設について	2日:第9回専門部会 ・メタンガスの各利用形態方法について ・不燃・粗大ごみ処理施設について ・資源ごみ処理施設について	21日:第10回専門部会 ・計画ごみ量の見直し ・施設規模の見直し		中旬:第11回専門部会 ・環境保全計画の作成 ・付帯機能の検討 ・施設計画(案)のとりまとめ							
	建設候補地選定専門部会	25日:第6回専門部会 ・二次選定結果 ・三次選定の評価項目の内容と評価の例 ・三次選定の評価項目の配点の検討	14日:第7回専門部会 ・三次選定の評価項目の内容と評価の例 ・三次選定の評価項目の配点の検討  28日:第8回専門部会 ・14日部会の議論及びワークショップの結果を受けた三次選定評価項目の配点案			21日:第9回専門部会 ・市民意見を受けた三次選定評価項目の見直し	中旬:第10回専門部会 ・三次選定評価結果(配置イメージ図の提示) ・候補地最終選定(案)作成			第11回専門部会 ・周辺環境への配慮について				
意見交換会・意見募集等	意見交換会(検討委員会確認後)	地元との意見交換	委員会の二次選定の結果を受けて絞られた候補地周辺市民との意見交換		検討委員会の検討結果を受け、候補地及び施設整備内容について周辺住民に市が説明会を実施									
	広報	回覧板(町内会自治会等)	←→											
		広報まちだ			●7/21									
		環境広報ECOまちだ			●7/11									
		町田市ホームページ			●7/11									
	意見募集	募集期間	←→											
とりまとめ		←→												
町田市	事業計画	地域計画	←→		←→		←→		←→					
ごみ発生量の時点修正		基礎数値の決定	←→											
施設検討	熱回収施設	←→												
	ごみメタン化施設	←→												
	不燃・粗大処理施設	←→												
	資源ごみ処理施設	←→												
施設の運営計画		←→												
とりまとめ		←→												